

ディプロマ・ポリシー（DP）及びカリキュラム・ポリシー（CP）関連科目

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

日本大学大学院薬学研究科では、日本大学教育憲章に基づき、「日本大学の目的及び使命」を理解し、薬学研究科の教育研究上の目的のもとに設定した以下の能力を身に付け、博士論文審査基準を満たし最終試験に合格した者に博士（薬学）の学位を授与する。

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

薬学研究科ではディプロマ・ポリシーに掲げる能力を修得するために複数の教員からなる多彩な形式の学びにより「自ら学ぶ」、「自ら考え」、そして「自ら道をひらく」能力を養い、指導教員の下、学術的並びに社会的意義が認められる研究論文を作成し発表することで、将来、指導的立場で活躍できる人材を育成するためのカリキュラムを編成する。学習成果は、受講態度、課題レポートの内容、プレゼンテーション及び質疑応答、討議内容又は試験等により評価する。

構成要素	学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	教育課程の編成及び実施に 関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	医療薬学 特論Ⅰ	医療薬学 特論Ⅱ	病態科学 特論Ⅰ	病態科学 特論Ⅱ	解析学 特論	生命科学 特論	製剤設計学 特論	臨床薬物 動態学特論	創薬化学 特論	アカデミッ ク・ ライティング	天然薬物 化学特論	環境衛生学 特論	病院実務 実習	実践薬学 分野研究	応用薬学 分野研究	基礎薬学 分野研究	薬学特別 研究
自ら学ぶ	豊かな知識・教養 に基づく高い倫理 観	(DP 1) 将来、医療分野で指導的役割を 果たすために、生命の尊厳を畏 怖し、豊かな知識と教養に基づ いた高い倫理観を持って薬学研 究を実践できる。										○	○		○	○	○	○	○
	世界の現状を理解 し、説明する力	(DP 2) 世界の医療・保健・福祉の現状 や背景を理解し、自らの意見 を持って自身の研究の重要性と 意義を説明することができる。										○	○	○	○	○	○	○	○
自ら考える	論理的・批判的 思考力	(DP 3) 得られた多岐にわたる知識や情 報を基に、論理的な手法並びに 批判的な思考で物事の本質を洞 察し、最先端の独創的な研究を 行うことができる。											○			○	○	○	○
	問題発見・解決力	(DP 4) 薬学領域における課題を自ら問 題設定し、継続的に取り組み、 解決策を提案することができる。												○	○	○	○	○	○
自ら道を ひらく	挑戦力	(DP 5) 新たな創造をめざして研究課題 に積極的に挑戦し続け、考え抜 くことができる。											○			○	○	○	○
	コミュニケー ション力	(DP 6) 研究を展開並びに拡大していく ために積極的に他者と交流、連 携かつ協働することができる。 また、自身の研究の成果を、専 門領域の枠を超えて発信するこ とができる。										○	○		○	○	○	○	○
	リーダーシップ・ 協働力	(DP 7) 薬学研究者として、多様なコ ミュニケーション能力を活用す ることにより集団のなかで協働 するとともに他者の指導ができ る。										○	○			○	○	○	○
	省察力	(DP 8) 薬学研究者として強い責任感と 高い倫理性をもって自身の研究 を見つめることで生涯にわたり 自己を高めることができる。												○	○	○	○	○	○